

コンクリート・コア圧縮強度試験依頼書

依頼番号	-	-
依頼日	年	月 日

○ ISO/IEC17025による試験

株式会社ピース 材料試験部

〒571-0015 大阪府門真市大字三ツ島708番の1

(試験方法 — JIS A 1107 : 2012)

TEL 072-887-0505 FAX 072-887-0082

指定事項 (1)

試験依頼者	
所在地	
工事名	
工事監理者	担当者 TEL
建築確認	確認番号：第 号 (受付番号：第 号)
工事施工者	担当者 TEL
試験目的	※ 1. 構造体コンクリート検査 2. 強度確認検査 3. 試験練り 4. その他 ()

指定事項 (2)

供試体採取日	年 月 日	試験日	年 月 日	試験時の材齢	日
供試体識別 (採取箇所)	供試体 番号	1	4	2	5
		2	5	3	6
		3	6		
設計基準強度	N/mm ²	供試体形状寸法	φ × cm	供試体数量	本
レディーミクスト コンクリートの呼び方	コンクリートの 種類による記号	呼び強度	スラブ 又は スラブフロー	粗骨材の 最大寸法	セメントの 種類による記号
レディーミクスト コンクリート製造会社				混和剤の種類	混和材の種類
搬入後養生方法	※	※ 1: 標準水中 (40h以上) 2: 室内気中 3: 封緘養生 4: その他 ()		水セメント比 (W/C)	%
その他					

指定事項(1)、(2)は試験依頼者からの情報による。

材料試験部記入欄

使用設備・機器 (管理番号を記入)	圧縮強度試験機	PMK-	デジタルノギス	PMK-	すきまゲージ	PMK-
	質量測定器	PMK-	ストレートエッジ	PMK-	台付スコヤ	PMK-
	定盤	PMK-	シクネスゲージ	PMK-		PMK-

測定及び試験結果

(使用レンジ :

kN)

供試体 番号	平均直径 (mm)	平均高さ (mm)	高さ×直径 の比(h/d)	補正係数	質量 (g)	見掛け密度 (g/cm ³)	最大荷重 (kN)	圧縮強度 (N/mm ²)	補正後強度 (N/mm ²)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
供試体外観目視確認 (鉄筋の有無、径、位置及び供試体の欠陥について内容を記入)									
1							4		
2							5		
3							6		
発行	一時確認	試験担当者	データ入力	受入/受付	備考				
連絡事項									
搬入業者名							TEL	FAX	

コア供試体 確認及び測定記録データシート

○ ISO/IEC17025による試験

(試験規格 — JIS A 1107 : 2012)

供試体確認結果

供試体 番号	平面度		平行度		直角度		直線度	供試体外観目視確認 (鉄筋の有無、径、位置、欠陥の有無)				
	上面	下面	上面	下面	上面	下面		鉄筋	位置	径・長さ ($\phi \times \text{mm}$)	本数	欠陥の有無
1	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	有・無	縦・横	×		有・無
2	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	有・無	縦・横	×		有・無
3	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	有・無	縦・横	×		有・無
4	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	有・無	縦・横	×		有・無
5	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	有・無	縦・横	×		有・無
6	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	良・否	有・無	縦・横	×		有・無
<ul style="list-style-type: none"> 平面度は、供試体直径の 0.05% 以内 平行度は、コア供試体平均高さの $\pm 1.0\text{mm}$ 以下 直角度は、コア供試体の端面とコアの軸とのなす角度が $90 \pm 0.5^\circ$ 直線度は、コア供試体の平均直径の 3% 以内 コア供試体に鉄筋が含まれる場合、ノギスを用いて 1mm の単位にて測定 								欠陥の内容				

供試体測定結果

供試体 番号	直径 (mm)		断面積 (mm^2)	高さ (mm)			h/d	補正 係数	質量 (g)	見掛け密度 (g/cm^3)
	実測値	平均値		実測値	最大/最小値	平均値				
1										
2										
3										
4										
5										
6										
<ul style="list-style-type: none"> コア供試体の直径は、一般に粗骨材の最大寸法の 3倍 以上 コア供試体の高さとの比 (h/d) は、1.90~2.10 を原則とし、どのような場合にも 1.00 を下回ってはならない。 コア供試体の平均直径は、上下高さの 1/4 付近 及び高さの 中央付近 で、互いに直行する 2方向 の直径を 0.1mm まで測定 コア供試体の高さは、4か所 において 0.1mm まで測定し、最大値と最小値の平均値を平均高さとする。 供試体の質量を、質量の 0.1% 以内の精度で測定 										